

2015年7月総括

キーパー選手権も後半戦に入り、いよいよ大詰めとなりました。8月のスタートが週末だったのもあり、コーティング施工が大いに盛り上がりを見せています。

車でまちを走っていると、たくさんのキーパープロショップの店舗で施工している姿を見ることができました。日本国中のたくさんの車がキレイになり、たくさんの「ありがとう」が店舗にあふれる8月になればと思います。

7月に入っても、6月から続いている梅雨が響き、日照時間が短く、中旬近くまで前年実績を越せない店舗が多く苦しみました。しかし、長かった梅雨が明けたとたんに、一気にマインドが上がり、たくさんのお客様にコーティングと洗車を施工させていただきました。

クリスタルキーパーの施工台数は前年対比113%。ダイヤモンドキーパー(ダブル含む)は前年対比139%と、長くもつコーティングが好調に伸びました。結果、売上実績は全体で前年対比118%でした。前年実績のある店舗での前年対比では110%と梅雨明け以降一気に実績を伸ばしました。

暑い8月ですが、紫外線も強いので需要が高く、たくさんのお客様のコーティングをお任せいただくことができます。たくさんの「ありがとう」のために、8月をやり切りたいと思います。



東日本事業本部
賀来 聡介

西日本事業本部
畠中 修

2015年 7月	今月KeepPer施工台数(台)			売上金額(円)			前年 対比	平均 単価	人時 生産
	ピュア・ ケア	クリスタル	ダイヤ類	洗車・ コーティング	板金・ その他	合計			
札幌店	54	151	30	7,458,237	367,761	7,825,998	109%	11,054	6,011
仙台長町店(新店2ヶ月目)	12	42	19	2,522,455	4,112	2,526,567	-	16,406	4,758
さいたま店	19	52	12	3,600,395	3,733	3,604,128	110%	7,701	5,461
浦和美園店	29	76	22	5,090,061	10,667	5,100,728	109%	9,790	5,945
草加店	22	72	44	7,737,405	26,576	7,763,981	107%	10,394	6,473
船橋店	21	65	9	3,557,025	22,318	3,579,343	102%	8,043	5,346
野田店(新店5ヶ月目)	11	31	18	2,516,850	98,429	2,615,279	-	10,852	4,497
柏店	30	54	16	4,095,691	32,022	4,127,713	95%	9,381	5,228
松戸店	31	78	15	5,206,982	59,471	5,266,453	96%	9,899	5,582
松戸東店	37	69	11	4,265,855	285,332	4,551,187	116%	9,176	5,700
足立店	59	105	35	8,931,197	141,563	9,072,760	110%	8,271	6,336
板橋店	44	82	31	6,880,576	11,798	6,892,374	100%	9,507	6,020
世田谷店	27	120	42	8,335,789	17,791	8,353,580	153%	11,554	6,720
八王子店	44	86	16	5,519,846	4,506	5,524,352	70%	7,002	5,103
相模原店	43	79	27	5,601,596	452	5,602,048	102%	9,050	5,960
上溝店	29	70	23	5,496,029	22,718	5,518,747	108%	9,018	5,574
東郷店(新店11ヶ月目)	27	34	9	2,710,081	49,341	2,759,422	-	7,665	4,875
豊田店	49	48	19	4,586,746	30,098	4,616,844	105%	9,070	5,397
岡崎店	38	85	18	5,384,625	15,945	5,400,570	105%	8,438	5,661
安城店	60	56	16	4,511,522	26,269	4,537,791	104%	8,388	5,448
知立店	24	65	17	4,146,436	155,148	4,301,584	104%	10,218	5,435
刈谷店	34	57	22	4,929,439	30,504	4,959,943	115%	9,575	5,445
半田店(2年目)	26	67	19	4,134,689	34,311	4,169,000	192%	9,856	5,758
大府店	52	53	23	5,660,797	97,142	5,757,939	103%	9,826	5,967
共和店	1	12	9	1,185,419	2,113,626	3,299,045	115%	27,265	4,240
東海店	97	38	29	6,735,768	14,442	6,750,210	115%	10,482	6,309
鳴海店	23	37	17	3,424,982	25,381	3,450,363	88%	7,452	5,008
大須店	15	62	24	5,199,823	54,972	5,254,795	94%	9,695	5,706
中川店	28	52	18	4,317,227	223,708	4,540,935	108%	7,856	5,399
甚目寺店	50	61	15	4,579,944	93,531	4,673,475	120%	9,403	5,942
一宮店	23	70	17	4,465,830	44,598	4,510,428	136%	9,742	5,775
大垣店(新店5ヶ月目)	18	13	6	1,169,321	32,518	1,201,839	-	7,419	2,872
鈴鹿店	43	81	34	6,472,801	21,069	6,493,870	120%	9,082	5,974
津店(新店4ヶ月目)	13	23	14	2,019,434	18,646	2,038,080	-	9,524	4,237
名張街道店(新店4ヶ月目)	6	25	6	1,221,785	1,186	1,222,971	-	10,543	3,020
宝塚店(2年目)	34	68	22	4,481,062	15,994	4,497,056	186%	8,297	5,618
新湊店	48	62	14	4,233,071	27,069	4,260,140	120%	8,321	5,741
合計	1,221	2,301	738	172,386,791	4,234,747	176,621,538	-	9,353	5,590
前年対比	106%	113%	139%	119%	75%	118%	-	110%	107%

※上記のうち、前年実績のある既存店舗31店舗のみの前年同月比は110%です。

※ピュア・ケア:ピュアキーパーとコーティングケア、クリスタル:クリスタルキーパー、ダイヤ類:ダイヤモンドキーパーとダブルダイヤキーパー

SUPER GT REPORT 8月8・9日 第4戦 in富士スピードウェイ

試練の第4戦、12位で完走。屈辱をバネに、鈴鹿に挑む

60kgのウェイトハンデを背負い、決勝レースに賭けた予選

スーパーGTでのウェイトハンディキャップは、50kgまでは鉛のウェイトを搭載しなければならぬが、50kgを超えた場合は50kg重量搭載相当の燃料流量リストラクターが絞られる。鉛のウェイトの場合、搭載位置はマシンのバランスを考え、最適位置に配置することは可能であるが、燃料リストラクターが絞られるとエンジンパワーが落ちるため、マシンへの搭載最適化が難しくなる。

37号車KeepPer TOM'S RC Fは60kgのウェイトハンデである。燃料流量リストラクターが絞られた上、10kgもの鉛を積んでの予選となる。

また、スーパーGTにおいては予選で使用したタイヤで決勝レースをスタートしなければならない。予選では順当なる順位を獲得して決勝レースに賭けた方が有利と呼んだチームは、予選の周回を最小限に絞った。

予選のQ1は平川亮選手が乗り込む。Q1が始まってコースに出ることはなく、ピットで待機。GT500クラスのマシンがすべてコースに出た後、おもむろに動き出す。タイヤを十分に温め、クリアラップ(前車との距離を十分に置いて、タイムを出し易い状況を作る)の取れた3周目に1' 29.359のタイムを出す。予選順位は12位。決勝レースに期待を寄せる。

ドライブスルーペナルティ、ピットインでのトラブル... 試練に耐え、淡々と走行

決勝のスタートドライバーはアンドレア・カルダレッリ選手。好スタートを切り、何と3台も追い抜いて9位にポジションをアップし1周目を終える。順位を大きく上げたにもかかわらず、パワー不足からこれ以上に順位を上げることもできずに我慢の走行が続く中、前を走る6号車もスピードが上がらず苦しんでいる。そのような状況の中でGT300

クラスの周回遅れと遭遇する。300クラスの抜きにかかった6号車と接触。6号車をスピンさせてしまいう形となる。本来ならレーシングアクシデントである。しかし26周目、6号車との接触が原因とされるドライブスルーペナルティが課せられる。

順位を大きく落として12位でコースに復帰。ペナルティ消化を終えたところから各マシンはルーティン(ドライバー交代、燃料補給のためのピット作業)のピットインが続く中、走行を続け35周終了時点でドライバーを平川亮選手に交代するためにピットイン。左前輪を交換していたインパクトレンチがトラブルで作動せず、やむなく予備のレンチで対応。タイムを大きくロスすることとなった。順位も14番手まで落としてコースに復帰。



平川選手は心を落ち着け、与えられた試練と覚悟し、淡々と走行を続ける。44周目に13位へ、52周目に12位まで順位を戻すものの、それ以上順位を上げることも叶わず、66週のレースを終えることとなった。

残念ながらポイント獲得とはならず、ポイントリーダーの座を譲り、3位に落ちてしまった。しかし、トップとはたったの8点差である。そして次戦の鈴鹿大会は1000kmという長丁場のレースであり、ポイントも1.5倍となる。今回の屈辱をバネに、次戦は結果を残すことに気持ちを切り替えてレースは終わった。

おかげさまで、KeepPer技研株式会社は、創業30周年を迎えます。

時下ますます隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、KeepPer技研株式会社は、本年9月1日をもちまして、創業より30周年を迎えることになりました。

1985年9月、愛知県にガソリンスタンドとして株式会社タニを創業し、その後、洗車・コーティング事業のアイ・タック技研株式会社を設立。

「日本に新しい洗車文化を。」をスローガンに、顧客満足(CS)と従業員満足(ES)の同時実現を企業の目的として成長してまいりました。

2014年にはKeepPer技研株式会社と改名、2015年2月東証マザーズ市場に上場。

これらはすべて、キーパープロショップ、施工店の皆様、お客様のご愛顧とご支援の賜物と、心より御礼を申し上げます。

しかし、弊社はまだまだ発展途上の真っ最中であります。

これからも、あくまでも「質」にこだわり、掲げた理想を実現、皆様のご愛顧に全力を捧げてお応えしてまいります。

今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻のほど、よろしく御礼申し上げます。

KeepPer技研株式会社
代表取締役社長 谷 好通